

## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：下保 修

<b>事業名</b> ：地域高規格道路 一般国道1号 水口道路 <small>みなくち</small>	<b>事業区分</b> ：一般国道	<b>事業主体</b> ：国土交通省 近畿地方整備局	
<b>起終点</b> ：自：滋賀県甲賀市土山町大野 <small>こうか つちやま おおの</small> 至：滋賀県湖南市岩根 <small>こなん いわね</small>		<b>延長</b> ：11.0km	
<b>事業概要</b> ：一般国道1号は東京都中央区を起点とし、大阪府大阪市に至る全長約570kmの、我が国の東西を結ぶ主要幹線道路である。国道1号沿線では、工場立地や住宅開発等による人口増加の影響もあり、慢性的な交通渋滞が発生している。水口道路は、交通混雑を緩和し、快適で安全な歩行空間の確保・地域の活性化等に大きく寄与する道路である。			
S41年度事業化	S61年度都市計画決定 (H3年度変更)	S45年度用地着手	S46年度工事着手
<b>全体事業費</b> ：400億円		<b>事業進捗率</b> ：75%	<b>供用済延長</b> ：7.4km
<b>計画交通量</b> ：30,700～46,000台/日			
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> ：(事業全体) 4.6 (残事業) 7.5	<b>総費用</b> ：(残事業)/事業全体 111/523億円 (事業費：73/485億円) (維持管理費：38/38億円)	<b>総便益</b> ：(残事業)/事業全体 835/2,421億円 (走行時間短縮便益：749/2,088億円) (走行費用減少便益：81/294億円) (交通事故減少便益：5/39億円)
<b>感度分析の結果</b> ：残事業費について感度分析を実施 交通量変動：B/C=8.0(交通量+10%) B/C=7.0(交通量-10%) 事業費変動：B/C=6.8(事業費+10%) B/C=8.3(事業費-10%)			
<b>事業の効果等</b> ・生活環境の改善・保全（NO2について49t/年削減、SPMについて6.0t/年削減） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上） 他14項目に該当			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 水口道路は、交通混雑を緩和し、快適で安全な歩行空間の確保・地域の活性化のために不可欠な道路であることから、地域高規格道路甲賀湖南道路整備促進期成同盟他から早期供用の要望(平成19年8月9日)。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・沿線周辺では、工業立地や住宅開発が進むとともに人口の増加が著しい。 ・甲賀市における製造品出荷額の推移は、滋賀県、近畿全域を大きく上回り、高い伸び率となっている。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 事業区間11kmのうち、平成13年度までに暫定供用L=1.7km、4車供用L=5.7km(用地買収96%)を行っており、今後現道拡幅区間(L=3.6km)の、用地買収及び工事推進を図る。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 用地買収時の条件の折り合い、代替地の手続き、公図混乱の訂正等に時間を要したが、順次供用開始を行っており、引き続き4車拡幅の用地買収工事を推進し、2工区については概ね5年以内の完成を目指す。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 施工にあたっては、周辺環境の保全とともに新技術・新工法を用いたプレキャスト製品の活用等によるコスト削減に努めながら事業を推進。			
<b>対応方針</b> ：事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			

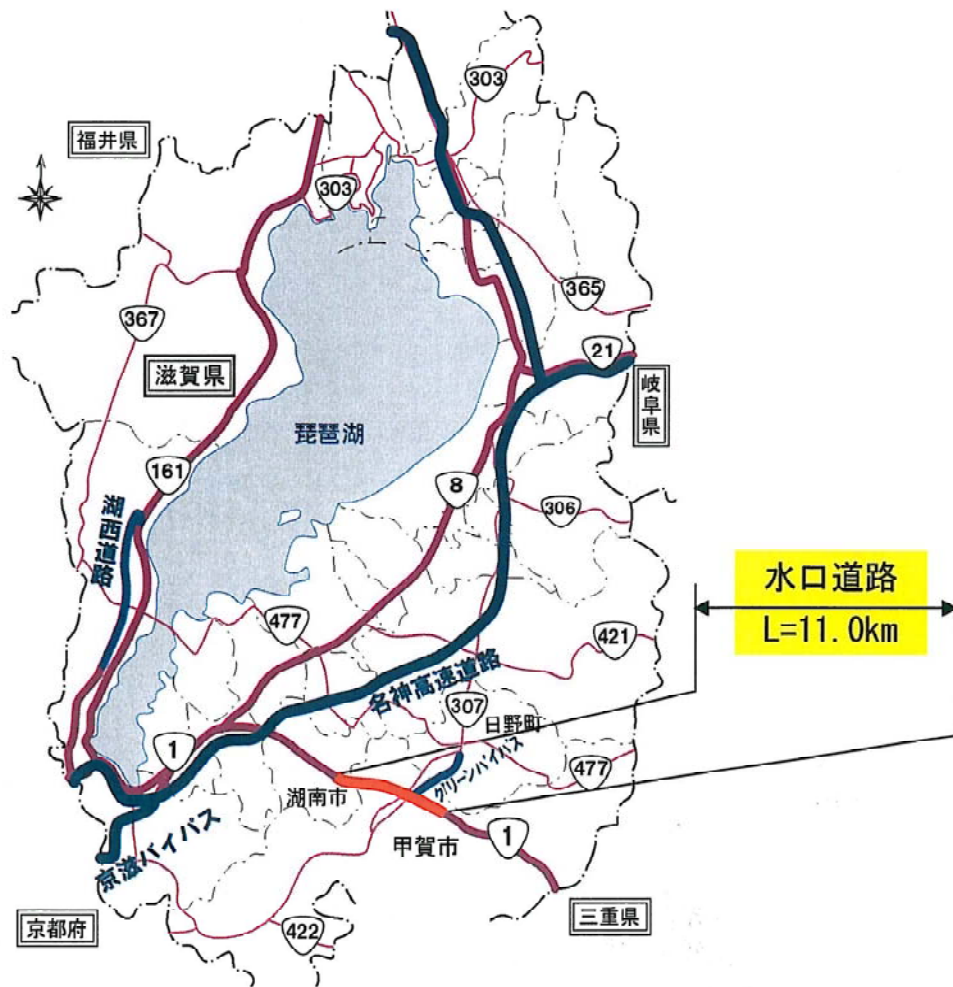
※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

## 再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課  
担当課長名：下保 修

事業名：地域高規格道路 一般国道1号 水口道路 <small>みなくち</small> <small>こうか つちやま おおの</small>	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 近畿地方整備局
起終点：自：滋賀県甲賀市土山町大野 至：滋賀県湖南市岩根 <small>こうか つちやま おおの</small> <small>こなん いわね</small>	延長：11.0km	

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。